

県内の産業 (その23)

— 準戦時における経済の推移 —

横須賀 弘

昭和元年の県内総生産額を産業別にみてみますと、農業が総生産額の65.0%、次いで工産物の16.3%、鉱産物7.9%、林産物、水産物がおのおの4.0%、畜産物2.8%の順となり本県の農業県としての姿が明確にわかるのであります。すなわち農・畜・林・水産物のいわゆる第一次産業部門が全体の75.8%を占めているのであります。これが、昭和6年には農産物50.6%、工産物32.3%、鉱産物6.9%、水産物4.7%、林産物2.9%、畜産物2.6%となり、農・畜・林・水産物の構成比は60.8%となり、景気の回復期を契機に工産物の大きな増進がみられるのであります。また、昭和6年～昭和12年の6年間の推移をみてみますと、昭和12年には農産物46.8%、工産物30.3%、鉱産物13.1%、水産物4.0%、林産物3.4%、畜産物2.4%となり、農・畜・林・水産物は16.6%と昭和元年にくらべ19.2ポイントの大きな減少を示したのであります。このように昭和12年の工産物・鉱産物の生産活動のなかには、とくに鉱業の生産増が大きく昭和元年～昭和12年間に5.8%の大きな増加があ

つたのであります。

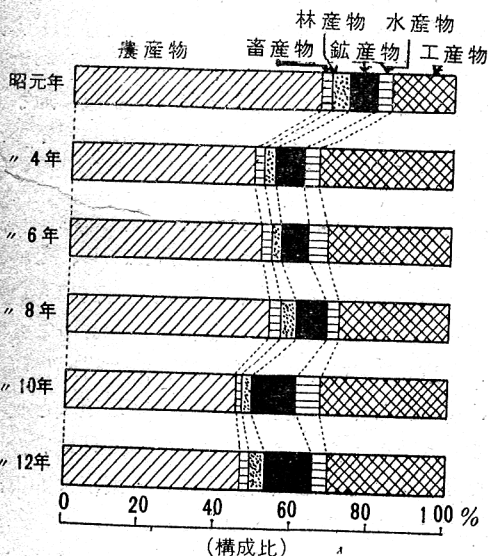
このように本県は農業県として農産物の生産高は全国的にみましても上位にあります。昭和12年における農業の生産額は136百万円に達し、国内第3位の生産額をあげております。そのベスト10をみてみますと第1位、北海道228百万円、第2位 新潟138百万円、第3位 茨城136百万円、第4位 福岡119百万円、第5位 兵庫114百万円、第6位 愛知113百万円、第7位 千葉112百万円、第8位 福島109百万円、第9位 静岡105百万円、第10位 鹿児島104百万円の順となります。しかし、これは生産実額でみた順位で、全生産額に占める農産物の割合からみますと、茨城は46.8%で全国平均の14.9%を大きく上廻っております。これを前と同じように、農産物の総生産額に占める割合の大きな順にみますと、第1位 山形54.4%、第2位 鳥取51.1%、第3位 青森50.2%、第4位 鹿児島48.4%、第5位 茨城46.8%、第6位 宮城46.7%等が大きな割合を示し、反対に東京1.2%、大阪1.6%、神奈川2.7%、兵庫6.4%、愛知7.3%、福岡7.3%、京都8.1%と前者グループと対象的であります。したがって前者グループの工産物の生産額は低く、後者グループの工産物の生産額の高いことに気付くことでしょう。

工産物の生産実額で全国の都道府県からベスト10をひろつてみますと、第1位 大阪3,100百万円、第2位 東京2,629百万円、第3位 兵庫1,616百万円、第4位 神奈川1,386百万円、第5位 愛知1,301百万円、第6位 福岡1,256百万円、第7位 静岡444百万円、第8位 京都389百万円、第9位 広島324百万円、第10位 岡山300百万円となり本県は88百万円で第31位に位しております。

このように農産物と工産物についてみると各都道府県間に大きな産業構造の相異がみられ、東北・北関東・山陰・福岡を除く九州地域は一般に農産物の生産が高く、反対に、大阪を中心として山

第1図 産業別構成比

(県内生産額=100.0%)



都 道 府 県 別 生 産 額

(昭12年)

	生産額合計 (A)		うち農産物 (B)		うち工産物 (C)		構成比		1人当り生産額	
	金額	順位	金額	順位	金額	順位	(B)/(A)	(C)/(A)	金額	順位
計	23,831,444,418	—	3,545,670,071	—	17,289,169,796	—	14.9	72.5	—	—
北 道 道	878,841,952	7	228,218,669	1	122,867,273	25	26.0	14.0	284	16
青 森 県	155,500,063	39	78,072,794	21	49,840,656	36	50.2	32.1	160	41
岩 手 県	222,393,386	30	65,875,049	26	—	—	29.6	—	212	28
宮 城 県	175,111,073	37	81,719,371	20	39,831,482	42	46.7	22.7	141	43
秋 田 県	213,272,379	33	75,750,602	22	25,023,524	46	35.5	11.7	205	31
山 形 県	153,314,465	40	83,388,076	19	57,487,156	35	54.4	37.5	137	44
福 茨 県	284,912,004	25	108,908,864	8	117,237,121	27	38.2	41.1	180	38
茨 城 県	290,001,106	22	135,718,693	3	87,976,908	31	46.8	30.3	183	33
栃 木 県	307,084,127	19	90,789,565	14	172,277,417	21	29.6	56.1	256	20
群 馬 県	289,775,479	23	95,109,185	13	180,135,339	20	32.8	62.2	233	23
埼 玉 県	360,813,414	17	87,788,308	15	198,563,680	18	24.3	55.0	236	22
千 葉 県	285,078,426	24	111,521,783	5	119,114,356	26	39.1	41.8	184	37
東 京 都	2,733,017,049	2	30,783,983	45	2,629,101,836	2	1.2	96.2	419	6
神 奈 川 県	1,464,370,538	6	38,978,418	40	1,385,750,880	4	2.7	94.6	793	1
新 潟 県	415,736,176	13	138,431,165	2	209,080,097	17	33.3	50.3	208	30
富 山 県	319,820,352	18	63,722,375	29	223,273,559	16	19.9	69.8	400	7
石 川 県	217,270,217	31	45,197,449	35	153,879,109	22	20.8	70.8	282	18
福 井 県	251,151,856	27	40,810,291	37	198,105,094	19	16.2	78.9	388	8
山 梨 県	121,562,129	44	24,411,239	47	31,192,810	43	20.1	25.7	187	34
長 野 県	297,391,194	21	68,871,372	24	44,757,407	40	23.2	15.1	173	39
岐 阜 県	347,265,309	17	83,787,871	17	236,845,996	14	24.1	68.2	283	17
静 岡 県	632,324,706	8	105,007,076	9	443,672,910	7	16.6	70.2	316	15
愛 知 県	1,555,208,824	5	113,323,049	7	1,301,181,172	5	7.3	83.7	544	5
三 重 県	376,460,711	16	82,018,906	18	249,524,726	13	21.8	66.3	320	13
滋 賀 県	227,749,532	29	61,792,603	30	152,060,240	23	27.1	66.8	320	14
京 都 府	473,745,464	9	38,263,444	42	389,209,590	8	8.1	82.2	278	19
大 阪 府	3,182,634,812	1	52,399,300	34	3,099,604,203	1	1.6	97.4	740	2
兵 庫 府	1,781,513,774	3	113,700,325	6	1,616,495,474	3	6.4	90.7	609	3
奈 良 県	141,558,756	42	38,830,149	41	83,348,595	32	27.4	58.9	228	24
和 歌 山 県	305,920,785	24	35,435,383	43	227,298,389	15	11.6	74.3	354	10
鳥 取 県	82,833,980	46	42,320,978	38	29,463,827	44	51.1	35.6	168	40
島 根 県	140,446,625	43	44,822,190	36	55,281,790	37	31.9	39.4	187	36
岡 山 県	448,038,133	10	99,209,248	12	300,352,735	10	22.1	67.0	336	12
山 口 県	445,155,697	11	86,112,418	16	324,483,482	9	19.3	72.9	246	21
広 島 県	434,257,666	12	72,955,026	23	294,973,915	11	16.8	67.9	364	9
徳 島 県	159,528,476	38	34,361,702	44	90,861,849	30	21.5	57.0	218	27
香 川 県	198,470,691	35	53,855,613	31	123,214,471	24	27.1	62.1	130	46
愛 媛 県	392,280,000	14	64,572,000	28	255,418,000	12	16.5	65.1	336	11
高 松 県	114,650,379	45	39,269,313	39	44,357,688	41	34.3	38.7	160	42
福 岡 県	1,640,986,391	4	119,303,786	4	1,255,544,802	6	7.3	76.5	590	4
佐 賀 県	151,542,822	41	66,745,419	25	53,383,282	38	44.0	35.2	220	26
長 崎 県	242,752,167	28	52,604,469	32	109,299,796	28	21.7	45.0	187	35
熊 本 県	262,090,054	26	99,581,741	11	101,301,611	29	38.0	38.7	188	32
大 分 県	206,972,357	34	65,216,330	27	57,088,961	36	31.5	27.6	211	29
宮 崎 県	184,827,317	36	52,602,845	33	71,748,208	33	28.5	38.8	224	25
鹿 児 島 県	215,124,151	32	104,115,181	10	60,281,949	34	48.4	28.0	135	45
沖 縄 県	66,123,544	47	29,359,955	46	25,303,203	45	44.4	38.3	111	47

陽——福岡ライン・東京を中心とした東海——愛知ラインに大別され、この地区で第2次、第3次産業の活発化がみられるのであります。

しかしながら、前述の第一次産業の関連産業の生産額と工産物等の生産額を合算した総生産額実額のベスト10みをみてますと第1位大阪3,183百万円、第2位東京2,733百万円、第3位兵庫1,782百万円、第4位福岡1,641百万円、第5位 愛知 1,555百万円、第6位 神奈川 1,464百万円、第7位 北海道 879百万円、第8位 静岡 632百万円、第9位 京都 474百万円、第10位 岡山448百万円の順序で、一般に大都市を包有する地域が上位に位しております。しかし1人当りの生産額でみますと、この生産実額でみた順位と著しい相異がみられるのであります。すなわち、第1位は神奈川で1人当り生産額は793円、第2位は大阪740円、第3位 兵庫609円、第4位 福岡590円、第5位愛知544円、第6位東京 419円、第7位 富山 400円、第8位福井388円、第9位 山口 364円、第10位 和歌山 354円で前述の第7位の北海道は第16位に、第8位の静岡は第15位に、第9位の京都は第19位、第10位の岡山は第12位にランクされております。このように総生産額と1人当りの生産額の実数生産順位の大きな違相は、それぞれの府県における産業構造及びその産業規模、あるいは雇用動向等に大きく左右され、現在の国民所得勘定、あるいは県民所得でいう、1人当り分配所得とその持つ意味は全く同じであると断定することは非常に危険でありましょう。なぜなら、現在の所得計算でいう1人当りの所得とは大ざっぱに云いますと公共・乃至社会投資の尺度の役割を果すものともいわれ、実際に個人の「フトコロ」に入るべき所得の表示ではないからであります。昭和12年度当時の統計技術も今日ほど進歩したのではなく、ここに揭示される諸統計以外にも現在の統計とを比較する際よく注意してみる必要があります。

上述で概観しましたように、本県の産業構造は

農産物の県内総生産額に占める割合の46.8%、工産物30.3%で、この2産業で77.1%を示めております。こうした構成比の分布を関東近県のそれと比較してみたのが第2図であります。この図から本県の第2次、第3次産業の大きな遅れがとくに明確にされるのでありましょう。とくに東京は農産物1.2%、工産物は実に96.2%を示し2産業で97.4%を占めているのであります。同様に神奈川県についても同じことが云えるでしょう。反対に茨城、山梨、長野等は全国平均を（工産物の割合）大きく下廻り、当時から後進性を大きく反映していたのであります。

次号では、上述の生産活動が地域別にみてどのような推移を示していつたかをみてみましょう。それと同時に工産物のなかの製造業の活動状況を追ひ、県内主要品目を例にしてその経過についてみてみましょう。

(県統計課)

第2図 関東ブロック都県別産業別生産額構成比 (全産業=100.0%) (昭和12年)

